

次第 4  
公営企業会計及び下水道事業の概要について

本日、考えていただきたいこと

- ▶ 市役所と企業の活動目的の違い

1 分間、時間をとるので考えてみてください！

下水道事業は

地方公営企業です。



- ▶ 下水道事業は民間企業と同じような会計方式
- ▶ 市役所の会計方式とは異なっている

## 市役所と企業の会計方式の違い

### ▶ 市役所

#### ・ 現金主義

(家計と同じ会計方式)



現金の受け取りや支払い  
がされた時点で会計処理  
を行う

## 現金主義の具体例

### ▶ 現金主義の場合の帳簿

① 10月1日	商品売上	500円	入金 (収入)
② 10月6日	電気代	100円	出金 (支出)
③ 10月9日	借入金	1,000円	入金 (収入)



手元に残るお金は1,400円であるように見える

## 市役所と企業の会計方式の違い

### ▶ 市役所

#### ・ 現金主義

(家計と同じ会計方式)



現金の受け取りや支払い  
がされた時点で会計処理  
を行う

### ▶ 企業

#### ・ 発生主義



現金が動かないものや取引の  
「手段」についても記録を行う



詳細な経営状況を把握できる



## どうして会計方式が違うのか？

### ▶市役所

会計の目的：

- ・ お金が正しく使われたかを  
確認すること

活動目的：

- ・ 公共の福祉の追求  
→社会全体の共通の利益が大事

### ▶企業

会計の目的：

- ・ 財政状態を明らかにすること  
(お金や借金がいくらあるのか)
- ・ 経営成績を明らかにすること  
(儲かっているのか、損をしているのか)

活動目的：

- ・ 利益の追求  
→どれだけ儲けたかが大事

下水道事業は

**地方公営企業**です。

- ▶ 下水道事業は民間企業と同じような会計方式
- ▶ 市役所の会計方式とは異なっている

## 地方公営企業とは

- ▶ 市町村などの地方公共団体が、地域住民の生活に必要な不可欠な事業を行うために経営する企業活動のこと
- ▶ 地方公営企業の例  
下水道事業 水道事業 病院 地下鉄
- ▶ 特徴  
サービスを受ける者が受益量に応じて経費を負担する → 基本的に儲けはでない

## 企業と同じ会計方式を取り入れた理由

- ▶ 厳しい財政状況
  - ・ 人口減少に伴う料金収入減
  - ・ 下水道施設の更新費増大
  - ・ 維持管理費等の上昇



企業と同じように経営状況を詳細に把握し、経営を考えていかないと事業が破綻してしまう！

## 経営を考えるととは？

- ・ 経営状況の分析を行う
- ・ 費用を賄えるように計画を立て、積極的に手を打っていく  
→ 経営戦略を立てて実行していくということ
  - ① 料金収入で費用を賄う
  - ② 費用削減
  - ③ 新たな収入源の確保

**経営戦略は綾瀬市でも策定しています。**

## 綾瀬市公共下水道事業経営戦略

- ▶ ① 料金収入で費用を賄う
  - ・ 令和5年10月1日に下水道使用料を8%の改定率で改定  
→ 令和元年の改定時に留保していた12%分の内の8%  
→ 次回は、令和10年に残りの4%を改定？
- ▶ ②と③：費用削減と新たな収入源の確保
  - ・ 新たな事業の展開

## 本日のまとめ

### ▶ 市役所の活動目的

- ・ 公共の福祉の追求

### ▶ 企業の活動目的

- ・ 利益の追求 → 詳細な経営状況を知る必要がある

### ▶ 地方公営企業とは

- ・ 下水道事業は地方公営企業
- ・ 市役所の会計方式とは異なり、民間企業と同じ会計方式  
→ 財政状況が厳しいので、企業と同じように経営状況を詳細に把握し、経営を考えていかなければならない